

各関係機関長 様

兵庫県病害虫防除所長

病害虫発生予察防除情報 第1号を下記のとおり発表します。

本年は、コムギの出穂が早く、防除適期が早まると予想されることから、特に現地での防除指導にご配慮願います。

## 平成31年度 病害虫発生予察防除情報 第1号

### コムギ 赤かび病の防除対策について

- 1 対象作物 コムギ  
2 病害虫名 赤かび病  
3 発生地域 県下全地域

#### 4 麦類生育状況、気象予報について

- (1) 麦類気象感応調査(加西市、11月8日播種)によると「シロガネコムギ」の出穂期は4月9日と平年の4月17日より8日早くなった。それに伴い開花期も早まると予想される。
- (2) 大阪管区气象台(4月4日付)発表の近畿地方の1か月予報によると、天候は数日の周期で変わり、ある程度の降雨が見込まれる。気温については、2週目以降は平年並または低い確率ともに40%であり、感染の可能性がある。

第1表 農林水産技術総合センター(麦気象感応調査、加西市)における麦の生育

品種名	播種期	出穂期		予想開花期		
		本年	平年差	開花始	開花期	開花盛期
シロガネコムギ	11月8日	4月9日	-8日	4月14日	4月17日	4月20日



写真 コムギ赤かび病. 左:乳熟期, 右:糊熟期

#### 5 発生生態・予想について

本病は、開花7~10日頃から発生し、穂の一部または全部を褐変枯死させる。甚大な発生となった被害種子は白っぽい屑ムギとなり、収量や品質が低下し、かび毒による汚染を起こす恐れがある。

本病の発生(第一次感染)は、開花始期から10日間の降雨日数が多いと発病穂率が高くなり、またこの期間の日最低気温が高いと発病度が高くなると確認されている。本病が、最も感染しやすい時

期は、開花期（約 50%が開花）から開花盛期（約 80%が開花）である。（農研機構 「麦類のかび毒汚染低減のための生産工程管理マニュアル改訂版」より）。

## 6 防除対策について

- (1) 薬剤によるコムギの防除適期は、開花始め～開花盛期である。本年は加西市における11月8日播種のシロガネコムギで開花始め～開花盛期が4月14日～20日頃と、平年より約1週間以上早まると予想される。出穂及び開花状況をほ場で把握し、遅れないように薬剤散布を行う。
- (2) 薬剤の治療効果はほとんど見込めないので発病前の予防散布が必要である。また、薬剤の残効期間もそれほど長くはないため、開花期に曇雨天が続く年には複数回の薬剤散布が必要である。
- (3) 防除薬剤については、兵庫県農薬情報システムを参考に選定し、農薬使用基準を遵守すること。  
兵庫農薬情報システム (<http://www.nouyaku-sys.com/nouyaku/user/top/hyogo>)

\* この情報は、兵庫県立農林水産技術総合センターホームページに掲載 <http://hyogo-nourinsuisangc.jp/>

問い合わせ先 兵庫県病害虫防除所 0790-47-1222